

「自ら学び、主体的に活動する子どもの育成」をめざして

中ノ郷小学校では、「自ら学ぶ意欲と確かな学力を身につけた、感性豊かなたくましい児童の育成」という学校教育目標を掲げ、確かな言葉の能力を身につけるための国語科の授業改革、話合い活動を充実させ自主的・実践的な態度を育てる特別活動に取り組んでいます。



鳥取市立
中ノ郷小学校

楽しくて学びのある国語科の授業づくり

児童の疑問や感想をもとに教師と児童が一緒になって授業を組み立てたり指導事項を明確化したりして、すっきりとした国語科学習をめざす。

単元構想を
しっかりと練る

深め合う場面を
工夫する

豊かな言語感覚を
育てる

- 「年間単元評価重点一覧表」をもとにつけたい力を明確化する。
- 教材の山場から始めたり、長編を短時間でまとめたりして、児童の関心興味を大切にした単元を作成する。

- 発問を工夫し、キーワードや字数制限を具体的に示した書く活動を取り入れて伝え合いを活性化する。
- 根拠を明確にして考えを話す。

- 「楽しい国語」コーナーを設置し、優れた表現に学ぶ。
- 全校児童が、古典の暗唱や音読に取り組み、全校集会で「今月の古典」の一齐読みを行う。

年間の単元評価重点一覧表(第2学年)

月	開講への 関心・意欲・態度	話す・聞く能力							
		話す ・聞く	書く	読む	ア話題設定・必要な事柄	イ話の順序・言葉の違い	ウはつきりした発音で話す	エ大事なことを聞く	オ話題に沿って話し合う
9月	かんじしたこと ・詳しくないこと ・ありがとうと思ったこと ・日本の言の葉 「言いつたえられている お話をしよう	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
10月									

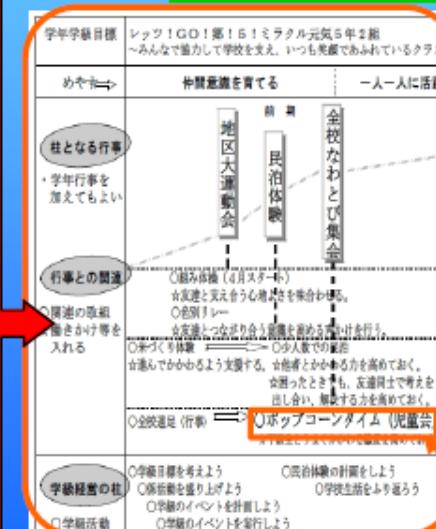
国語科で身に付けた言葉の能力は各教科での学びの基礎となります。また、特別活動で培った主体的に活動する力は、他の教育活動で生かされます。児童の実態から計画を練り、学習展開を工夫したり、振り返りの時間を確保したりすることで、児童は自分の考えに自信をもち、生き生きと表現できるようになります。

本気になって取り組む特別活動

児童自らが問題を見つけ、話し合い、折り合いをつける学級会や、協力し、めあてに向かって高まり合う児童会活動に取り組む。

年間を見通した
題材計画

- 4月の児童の実態から学年末のめざす姿を設定し、「学級経営実施案」を作成する。
- 学級活動(1)を行なうにあたって、年間を見通した活動構想図を作成する。



児童が本気になる
教師のかかわり方

- 議題に向けて意識が高まるような種まき(しかけ)を行う。司会団が話合いを焦点化できるように助言を行う。



・委員会活動では、できるだけ児童の創意工夫に任せて見守り、自主的な活動を促す。

主体的に取り組む
児童会活動